

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. プログラム名；スポーツ整形外科専攻コース

2. 診療科(専門領域)：整形外科(スポーツ整形外科・膝関節外科)

3. コースの概要

スポーツ傷害や膝関節疾患の治療を中心に行っているスポーツ・膝疾患治療センターでの半年間のコースである。この間に一般整形外科についても診療に従事する。

4. 目標

一般目標：整形外科の総合的な診療能力を高め問題解決能力を取得すること。
手術手技の習得のみならず、保存療法の必要性や外来診療、術前術後管理などについての基本的な技術の習得を目標とする。

短期目標：膝関節鏡手術を中心に膝関節外科の基本手技の習得が目標で、整形外科全般の症例についても経験する。

【期間内の目標手術経験数（術者数/経験数）】

膝関節鏡視下手術；30例/100例

長期目標：整形外科医に必要な専門的知識と診療技術を習得することに努め、患者の多彩なニーズに対応できる幅広い良識を身につける。

5. 取得手技

整形外科、特にスポーツ・膝疾患治療センターにおいて整形外科の知識の習得、手術治療法のみならず各種保存療法や術前術後管理、外来診療などを学ぶ。

6. 研修期間：6-12ヶ月間

7. 募集人数：同時期は1名のみ

8. 診療科の主な実績と経験(術者もしくは助手)目標症例数

【整形外科】

No.	疾患	実績(年間)	目標件数(6ヶ月間)
1	半月板手術	381	50
2	靭帯再建手術	116	20
3	膝人工関節手術	91	20
4	骨折脱臼手術	263	30
5	手外科手術	359	30

9. 診療科の指導体制

診療科	常勤医師数	指導責任者(経験年数)	
整形外科	8	萩野哲男(35年)	山梨大学臨床教授
		落合聡司(25年)	山梨大学臨床教授

10. コンセプト

スポーツ・膝疾患治療センターを開設し、スポーツが原因の傷害、特に膝関節疾患の治療を積極的に行い、アスリートを中心に多くの患者のために積極的に活動している。関節疾患に対する関節鏡手術が年間721件(令和4年度)に及ぶことは当院の特色の一つで、膝靭帯再建術は山梨県内で最も手術件数が多く、これを含めた関節鏡の症例数も群を抜いている。全国病院別治療実績(DPC対象病院)では、2021年度退院患者の統計におけるスポーツ障害部門で、全国3位となっている。本コース選択者は、整形外科スポーツ領域において個々の能力や経験に見合った指導を受け、スキルアップのための症例を多く経験することが可能である。

11. その他(研修関連情報など)

関連領域の研修に関して:日本整形外科学会専門医制度研修施設のほか日本リハビリテーション医学会、日本リウマチ学会の研修施設でもある。

共通領域研修について:山梨大学医学部整形外科主催の教育研修やセミナー・研修に参加可能で、希望者には山梨大学医学部附属病院での研修も可能である。